

# デイサービス見学チェックリスト(保存版)

このチェックリストは、すべての項目が完璧であることを求めるためのものではありません。施設によって強みや特徴は異なります。以下の視点を持って、「本人と家族にとっての優先順位」を整理する指標としてご活用ください。

- ミスマッチを防ぐ: 本人の身体状況や生活リズムと、施設のサービスが合致しているかを確認します。
- 妥協点を見出す: すべてのを満たす施設を探すのは困難です。どの項目を優先し、どこであれば許容できるかを家族で話し合う材料にしてください。
- 納得感のある選択: チェックの数ではなく、本人と家族が「ここなら安心して任せられる」と思える納得感を大切にしてください。

---

## 1. 「スタッフ・雰囲気」のチェック(人・接遇)

- 挨拶と表情: スタッフ同士、または利用者に対して明るく自然な挨拶ができているか
- 言葉遣い: 利用者を一人の大人として尊重した話し方(丁寧語など)になっているか
- 対応の様子: ナースコールや利用者の呼びかけに対して、迅速かつ冷静に対応しているか

## 2. 「環境・衛生」のチェック(管理体制)

- におい: 玄関やトイレ付近で排せつ臭や生ゴミのにおいが気にならないか
- 掃除の状態: 窓枠のホコリや床の隅、洗面台などが清潔に保たれているか
- 掲示物: 献立表や行事予定表が最新のものが(期限切れの古い紙が放置されていないか)
- 事務所(バックヤード): デスクや棚が整理整頓されているか(個人情報や管理業務の徹底度の指標)

## 3. 「リハビリ・活動」のチェック(目的の整合性)

本人の過ごし方がニーズに合っているかを確認します。

- 個別性の尊重: 全員強制のレクだけでなく、本人が選べる活動があるか
- 活動量: 利用者が「ただ座っているだけ」にならず、何らかの刺激や活動が行われているか

- (質問) 専門職の関与: 理学療法士などの専門職は、具体的にどのように訓練に関わっていますか?

#### 4. 「デジタル・利便性」のチェック(家族の負担軽減とケアの質)

システム化による「ゆとり」と「利便性」を確認します。

- 現場の連携: スタッフがインカム(無線)や端末を携帯し、フロアを離れずに連携しているか
- (質問) 連絡帳と写真: スマホアプリによる連絡帳や、活動写真の共有はありますか?
- (質問) 送迎の通知: 送迎車の到着予定時刻がスマホで分かるようなシステムはありますか?
- (質問) 事務の手間: 電子契約やオンライン決済など、家族の事務負担を減らす仕組みはありますか?

#### 5. 「水分・食事・入浴」のチェック(生活支援)

- (質問) 水分管理: 滞在中に必要な水分量(800~1000ml)を確保するために、どのような促しをしていますか?
- (質問) 食事の個別対応: 咀嚼能力に合わせた形態(きざみ食等)や、季節のイベント食はありますか?
- (質問) 入浴設備: 今の浴槽以外に、身体状況が変化しても対応できる設備(機械浴など)はありますか?

---

【見学メモ・特記事項】(スタッフの印象、本人の反応、費用感、気になった点などを自由にご記入ください)